

ひだまり通信

NPO 法人 コミュニサーあおもり

2020年 ③
1月22日号

青森市港町2-10-49-17号
080-5736-2442

フリースクール・あおもりサニーヒルでは、一般の方々向け・小中高生向けの様々なセミナーを開催してきました。子ども達が自分を見つめ直し、人との関係性を深めたり、自分の求める学びを発見したりすることを後押ししてくれる力となってくれることを願ってのイベントです。

2019年は、「学校についてみんなで考えよう」(一月二十六日・自由の森学園高等学校校長新井達也氏)(16名の参加)。「片づけ」は自分と向き合うセルフビー(二月一日・整理収納アドバイザー、発達障害住環境サポーター加藤ゆか氏)(22名の参加)。を実施してきました。

昨年末から2020年2月初めにかけては、3つのイベントがサニーヒルを会場に開催されています。

『ゲームの世界を知ろう』(1月8日開催)では、不登校を経験しながらもゲームの世界を通して乗り越え、通信制高校に進んで、今は社会人として活躍している二人の男女青年がそれぞれの歩んできた道を話してくれました。

2020年1月8日サニーヒルにて開催

あおもりサニーヒルセミナー 冬休み企画

ゲームの世界を知ろう!

ゲームの魅力と向き合い方

ゲームってどのくらいやっているの？

なんとなく不安を抱えながら、ガッコウに行かず過ごしている・・・
不安を紛らわすためにゲームに没頭したり。

参加募集

「かーくん」(25歳)「sayakan」(26歳)の二人です。座談会形式で行われた話し合いの中でいくつかの質問に和やかに答えるお二人の表情がさわやかでした。

参加者は、大人8人・子ども5人でしたが、家庭的な雰囲気の中で小さい子ども小学生も高校生も笑顔の中でゲームを楽しんでいました。子ども達をつないでくれたのが大学生のボランティア木村君でした。

「かーくん」と「sayakan」の二人は、どちらも第一学院高等学校(通信制高校)の卒業生です。今回のイベントを企画運営してくれた三上満穂さんも以前、第一学院の職員でした。

こうしたご縁もあって、サニーヒルでは、第一学院との『モバイルハイスクール』(高校卒業資格が取得できるオンライン学習)をスタートさせるよう準備が進んでいます。



座談会の様子

大きい子ども
小さい子ども
教えたり、教えられたり
和気あいあい...



大スクリーンでゲームを楽しむ子ども達

学校でプログラミングが始まる前にパソコン操作を体験しよう

みんなで楽しく プログラミング体験

小学2～5年生の
女の子・男の子のための

無料

家にパソコンがないので
授業で困らないか不安！



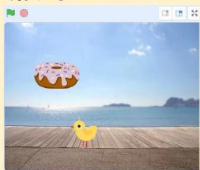
ゲーム作りを体験して、パソコン
操作の不安を解消できます！

パソコンに一度もさわったことが
ないので、プログラミング授業に
ついていけないか不安ではないで
すか？
小学2年から5年生ぐらいの女の
子と男の子のための体験会です

フリースクールに興味がない人のご参加も
お待ちしております。
1回だけの参加も3回とも参加もできます。

実際に遊べるゲームをスクラッチ
で作ります。パソコンの基本操作、
スクラッチの仕組み、ゲーム作り
の思考を体験できるので、学校の
プログラミング授業を安心して
受けることができます。

1回目
12月26日 (木)
13:30～15:00
落ちものゲーム



1名参加(申込3名)

2回目
1月11日 (土)
13:30～15:00
ジャンプゲーム



2名参加(申込3名)

3回目
2月8日 (土)
13:30～15:00
シューティングゲーム



申込5名

《講師》
パソコンITシステム／代表 長谷川直宏

中小企業庁や商工会など
の専門家派遣講師として
県内の事業所さんのパソ
コン活用をサポートして
います。9年間で100社以
上の実績あり。



2020年4月から小学校にプ
ログラミング学習が導入されま
す。コミュニサーあおもり・サニ
ーヒルの正会員でもある長谷川直宏
さんご自身のPCを提供して下
さり、初歩のゲームづくりを通し
てプログラミングを学ぶセミナー
を無料で開設してくださいまし
た。この度は、全3回のシリーズ
となっております。参加の小学生は
多くはありませんが、十分に楽し
んでいます。

2020年1月19日開催
不登校・体験談会

『それで、フリースクールって
どんなところ？』

社会の中で培った体験を語
つてくれる座談会がサニーヒ
ルを会場に開催されました。

テーマは、フリースクール。

サニーヒルの運営責任者・
西川智香子が自らの娘との体
験をきっかけに『ひだまりカ
フェ』不登校の子ども達と若
者が集う広場が高じて、フリ
ースクールを開設するまでの
体験を語りました。

斎藤美佳子さんは、30年前
の小学5年の時から登校しづ
り・不登校を経験し、「不登校
は病気でない」「学校が子ども
に寄り添うべきだ」という東
京シユールの発信を知り、「自
由な活動空間」を広げてきま
した。学校に行けないのは自
分ひとりじゃないんだという
事をフリースクールで知り、
そこから社会に出るきっかけ
をつかんできました。現在、弘
前市『ヒロロ・子育て支援セン
ター』で不登校親の会『ほっと
スペースのみだけ』を月一回、
運営しています。



それで、フリースクール ってどんなところ？

フリースクールから社会に出た人の体験談と、
青森県でフリースクールをつくった人の話し



体験談会の様子

斎藤美佳子さん

参加者の感想

- 自分はこのままでいいんだというあったかい気持ちになりました。
- 自分の子が不登校傾向にあり、今後どのようにしたらよいか考えているところでした。
- いろいろな立場の方のお話が聞けてとても安心できました。それぞれがそれぞれにいろいろな気持ちを抱えていることを知りました。
- 分かっているつもりで、分かっていたなかったフリースクールについて知ることができて良かったです。
- 子どものことを守れる親でありたいなあと思いました。

